

## 「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」盛大に開催される

港湾関係 5 団体で構成する「経済と暮らしを支える港づくり全国大会実行委員会」は、令和 6 年 11 月 28 日東京・赤坂の ANA インターコンチネンタルホテルにおいて「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」を開催し、全国各地より港湾管理者をはじめとする港湾関係者約 1,200 名が参加した。

主催者として（公社）日本港湾協会会長（進藤孝生）、全国港湾知事協議会副会長（岸本周平和歌山県知事）、港湾都市協議会副会長（楠瀬耕作須崎市長）、日本港湾振興団体連合会副会長（徳永繁樹今治市長）がそれぞれ挨拶し、港湾海岸防災協議会副会長（遠藤譲一久慈市長）を紹介した。

次に、来賓として中野洋昌国土交通大臣よりご祝辞を頂いた。また、同じく来賓として、森山裕自由民主党港湾議員連盟会長・港湾海岸防災協議会会長、西田実仁公明党海事・港湾振興議員懇話会会長より、それぞれご挨拶を頂いた。

その後、ご来賓の高橋克法国土交通副大臣、古川康国土交通副大臣、吉井章国土交通大臣政務官、国定勇人国土交通大臣政務官、高見康裕国土交通大臣政務官、国会議員の先生方、稲田雅裕国土交通省港湾局長、各地区で港湾整備振興のためにご尽力されているブロック代表の方々をご紹介した。

稲田港湾局長から港湾行政の報告を受けた後、茶谷義隆七尾市長、木戸貴文阪神国際港湾（株）代表取締役社長、中山俊雄小松島市長、平良武康本部町長から港湾整備振興、海岸防災に関する意見表明がなされた。引き続き、菅原広二男鹿市長が「港湾の整備・振興に関する要望書」を提案し、満場一致の賛同を得、進藤孝生日本港湾協会会長から高橋克法国土交通副大臣、吉井章国土交通大臣政務官、国定勇人国土交通大臣政務官、高見康裕国土交通大臣政務官に要望書が手渡された。万雷の拍手の中、国土交通省、政府与党、国会議員、財政当局等に対し、要望書の内容の実現に向け要望活動を行っていくことを確認して全国大会は終了した。

終了後、主催者団体から財務省政務三役、自由民主党三役、国土交通省政務三役等に要望書を提出し、要望活動を行った。



■ 主催者挨拶

進藤孝生日本港湾協会会長



■ 要望書手交

進藤会長から高橋克法国土交通副大臣へ